

## 明日の農地改革

国武 匠

農地改革とは、農地所有の形態、ルールを改め、それに伴い農地の再分配を行うものである。その一般的な目的として、不平等な土地所有から生じる格差の解消、大土地所有者の権力の解体、そして自らが耕す土地を所有する、つまり自作農の増加による生産意欲・生産活動の強化が挙げられる。しかしその根本的な意義とは労働をしたものが労働したその価値を自分で受け取れるという世界を創ることである。Land Reform and Peasant Livelihoodsではこう定義されている<sup>1</sup>。農業構造における大きな変化で、地方の貧困層が土地へのアクセスを、その土地で働く人が所有を保障されること。農業に関する情報、市場、サービスや支援を手に入れること。これらがその目指すものであるが、根本的な要素だけに絞るならば、土地へのアクセス、土地の権利と所有の保障、そして生産構造の改善ということになる。土地は権力の源であり、人の生活を保障してくれるものでもある。途上国内における政治的、経済的格差の根本的原因の一つであり、先進国と途上国との経済格差を固定しているのが土地の所有問題であると考えられる。農地改革とはこの不平等の根幹にかかわる問題を扱う存在なのだ。そのため農地改革は既存の権力を脅かす存在であり、世界的に見て成功例はほとんど見られない。そこで本論ではそのわずかな成功例を含む3つの農地改革を比較検証する。日本、ボリビア、フィリピンの三ヶ国である。検証の際に、国家による上からの力と、農民による下からの力に注目した。上からの力とは国家的取り組みのことであり、下からの力とは農民による実質的行動のことを指す。その結果、上からの力が十分である場合には農地改革はうまくいき、下からの力は上からの力が不十分である場合にそれを補填するために必要であるということがわかった。また、教育の普及は農地改革の進行速度に影響することもわかった。そして検証の際農作物が何であるのかに注目した結果、農地改革の成否に最も関わるものは穀物であるのか商品作物であるのかというその土地の作物であるかに行き着いた。その上で、現在の小さな政府という世界的に見られる傾向の農地改革に対する影響と、その対流として存在する、農地改革という国家的取り組みを促し格差の解消を目指すMSTの土地なし農民運動及びLa Via Campesinaの国際的広がりを分析した。それは国内での上からの力、下からの力のせめぎ合いが国際舞台においても行われるようになったことを意味していた。

以上の点を踏まえ、本論では日本、ボリビア、フィリピンの農地改革と、MSTの土地なし農民運動、La Via Campesinaの運動を検証していく。まず成功例として日本の農地改革を通して、成功要因と成功によってもたらされた結果を検証する。次にボリビアに目を向け、ラテンアメリカが総じて抱える問題点と、農民革命によって成立した政権がなぜ失敗

---

<sup>1</sup> Krishna Ghimire編 『Land Reform and Peasant Livelihoods』、ITDG Publishing、2001、p.7, p.8

したのかを検証する。ボリビアの農地改革は成功したのかどうかという点にも注目し、何をもって農地改革の成功と判断するのか考える。長年農地改革に取り組んでいるにも拘らず機能していないフィリピンの農地改革を通じては、農地改革の阻害要因を検証する。次に三ヶ国を比較検証することで農地改革に必要なもの、そして影響を与えるものを論じ、国際関係との関わりについて論を進める。更に MST 土地無し農民運動についてその方法と可能性を論じ、農民組織の国際的連帯組織である La Via Campesina の取り組みを取り上げたい。

## 参考文献目録

- 大野徹 (2005) 『アジアの農地制度と食糧』、晃洋書房
- 田辺 洋太 (2005) 『土地を持たない、農村部の働き手達による活動@Brasil』、国際政治経済論ゼミ論
- 野沢勝美 『フィリピン・南部ミンダナオ地方の農地改革と受益農民組織』、アジア大学国際関係紀要第 10 巻第 2 号
- 『Halina84』、日本ネグロスキャンペーン委員会、2003 年
- 『Halina88』、日本ネグロスキャンペーン委員会、2003 年
- 『Halina91』、日本ネグロスキャンペーン委員会、2004 年
- パレスカス、マリア・ロザリオ・ピケス著、角谷多佳子訳 (1995) 『真の農地改革を目指して フィリピン』、国際書院
- 笛木昭 (2000) 『経済発展と食料・農業・土地』、農林統計協会
- 『ボリビア 国別援助研究会報告書』、国際協力機構国際協力総合研修所、2004 年
- ラジデンスキー、ウォルフ (1984) 『農業改革 貧困への挑戦』日本経済評論社
- ワード、E.E 著、小倉武一訳 (1997) 『農地改革とは何であったのか?』、農文協
- Jane Benton (1999) *Agrarian Reform in Theory and Practice A study of the Lake Titicaca region of Bolivia*、AshgatePublishing
- Krishna Ghimire 編 (2001) *Land Reform and Peasant Livelihoods*、ITDG Publishing
- La Via Campesinaホームページ <http://viacampesina.org/en/index.php>